

大牟田市立羽山台小学校



1 学習に取り組んでいる主な分野

<input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input type="checkbox"/> 平和	<input type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input type="checkbox"/> その他 ()	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、「友達と学び合う心豊かでたくましい子供の育成」を学校教育目標に掲げ、本年度の ESD の重点項目を中心に、各学年で GT 等の外部人材の活用を行い、特色のある ESD の計画・実施をしている。

具体的には、環境教育、福祉教育、世界遺産・文化財教育において、身近な昆虫や小動物についての学習、羽山台校区の宝、目や耳の不自由な方や高齢者にやさしいくらしやまちづくりについて調べる学習を行った。



じゃが谷公園で秋見つけをしている様子 (1年生)

3 特徴的な活動事例の紹介

○ 目や耳の不自由な方や高齢者にやさしいくらしやまち、羽山台校区の宝、についての学習



GT の方の話を聞いたり、アイマスクや点字体験をしたりしている様子 (3年生)

3年生では、「よりよいくらしについて考えよう (総合的な学習の時間)」の学習において、目や耳の不自由な方を GT に迎え、生活の様子や苦労や努力、願い、ユニバーサルデザイン (点字ブロックや信号機、シャンプーの容器、回るライトなど) などの話を聞いた。また、アイマスク体験や点字・手話体験を行った。GT との交流や様々な体験を通して、自分たちの周りにはたくさんの点字があることに気付いたり、手話を覚えて耳の不自由な方と話したいという思いをもったりした。そして、手話を調べ、手話の歌に挑戦するなど、学んだことを発信した。

「困っている人がいたら助けたい」など、自分にできることはないかを考え、いろいろな人と進んでかかわりをもとうとすることが出来る力を高めていった。

5年生では、「高齢者にもやさしいまちをめざそう（総合的な学習の時間）」の学習において、大牟田市の現状（高齢化など）や校区の独居老人や高齢者の方の暮らしについて知る中で、課題を設定した。

そこで、GTの方から一人暮らしをしている高齢者のことや課題を聞いた。また、車椅子の介助の仕方や体験セットを身に着けて歩くなどの高齢者模擬体験や絵本教室を通して認知症について学び、高齢者について理解を深めた。

そして、分かったことや自分たちにできること、実践したいことを話し合い、壁新聞やリーフレットにまとめ、発信した。高齢者の方とのよりよい関わり方や、みんなが過ごしやすいようなやさしいまちづくりのあり方について自分の考えをもち、実践することの大切さに気付くことができた。

4年生では、「発見！羽山台の宝（総合的な学習の時間）」の学習において、校区にあった遺跡や史跡の話をGTの方から聞いたり、実際に、草木八幡神社やえびす様、金井寺などの史跡見学をしたりした。そして、校区の宝を守っていくために自分たちにできることや校区のよさを多くの人に知ってもらうための方法を話し合い、発信した。学習を通して、自分の地域・校区には、宝を守っている人がたくさんいらっしゃることを知り、自分たちも校区の宝を大切にしていこうとする気持ちが高まってきた。

このように、羽山台小学校では、外部の方とのつながりや校区の遺跡や史跡を通して、環境・福祉教育、世界遺産・文化財の学習を行っている。これらの学びの過程は、SDG3「すべての人に健康と福祉を」、SDG11「住み続けられるまちづくり」、SDG15「陸の豊かさを守ろう」に通じるといえる。



高齢者模擬体験の様子（5年生）



絵本教室の様子（5年生）



GTの方からの校区の歴史学習や史跡見学の様子（4年生）

3 今後の活動計画

令和8年度も、環境教育、福祉教育、世界遺産・文化財を柱とした体験活動や探究活動を継続し、充実させていく。

1. 横断的・総合的なESDの実施をするために、「課題設定」→「情報収集」→「整理・分析」→「まとめ・表現」の学習活動を数サイクルでまわす単元構成の工夫
2. 本校における世界遺産・文化財教育により育成する資質・能力の明確化
3. 地域の「ひと・もの・こと」を最大限活用する、活動構成の工夫
4. 目的・内容・方法を明確化した、体験的活動や協働学習の促進